

緊急プラン(素案)に対する市民意見【障害】

No.	種別	意見
018	障害	<p>箕面市の障害者通所授産施設に勤務しております。 箕面市の財政の削減の必要性はよくわかりますが以下の点に疑問があります。 ・その削減数値は関係部局と協議、調整した上ではじきだされた数値なのですか？ ・もし協議したのであれば10パーセントの削減はどのような根拠から10パーセントの削減案がでたのですか？(具体的にどの部分を削減し、どう不足分を補っていけばいいのですか？) 補助金による運営をしている法人、事業所、作業所に関しては一方的な削減では運営自体に支障があり・・・やはり削減団体にはきちんとした根拠の説明が必要だと思われませんが・・・</p> <p>質問 関係部局とチームゼロの調整はあったのですか？ 10パーセントの根拠は？ 障害福祉とは数値的にプラス、マイナスを判断できるものではありません。それは行政の方も十分に理解されていると思います。第2種の社会福祉事業が収益事業を行う事が難しい現状の中で、補助金の活用において事業においてどれくらいのお金が必要で、その中で削減できるものはないか、その根拠は等を行政、削減団体とでしっかり見直し、検証する事が必要だと思われます。その協議の結果を踏まえて削減案を作成、提案して欲しいと思います。現状の方法では行政の考え主導であまりにも一方的ではないでしょうか？そこには箕面の明るい社会福祉はないように思われます。</p>
035	障害	<p>箕面市の財政が赤字で削減しなければならないのは十分承知致していますが、その承知の上でできるだけ削減をしないでほしいです。又、私達精神障がい者が、ハンデを負いながらも頑張っているところを視察しに来てほしいです。以上</p>
233	障害	<p>小規模通所授産施設2割もいっぺんに削減しないでください。せめて0.5%あたりから徐々に様子を見ながらにしてください。 そうしないと僕たち障害者は生きづまり路頭に迷うこととなります。お願いです。補助金を削減しないでください。 それと第2総合の市民プールを廃止しないでください。というのは、僕は泳げないのです。子どもたちが大人になっても泳げなかったら、僕みたいに恥ずかしい思いをしなければなりません。また、水泳選手日本代表が箕面から出てこなくなります。それはとても残念なことです。</p>
241	障害	<p>(27)在宅ケアセンター運営事業について 障害者・母子・父子家庭・難病・ターミナルケアが必要な方などの総合的な支援を在宅ケアセンターの4人で担当されており、今でも大変だと思われます。障害者のケアマネージメントを司っているところで、これからさらにもっと充実してほしい支援です。運営体制の充実を望みます。</p> <p>(39)社会福祉協議会補助金について 当会の会員の子もたちは重度重複の障害があり、行事を行うごとにボランティアが多数必要となって来ます。ほぼ1人に対して2人以上のボランティア配置が必要です。親子での外出も大変な方が多数おられます。重い障害があっても支援を受けながら外出や行事を行うにはお金がかかります。どうか補助金を減額しないでください。活動の幅を狭めないでください。</p> <p>各種団体事務運営補助(地推会)について 当会が活動するうえで、行政関係の連絡調整、当会の業務等に関することを行ってもらい会の運営が成り立っています。今まで通り支援が受けられるようにしてください。</p> <p>(42)障害者福祉作業所運営補助金・(43)障害者雇用助成補助金・(44)小規模通所授産施設運営補助金について 障害が重い人でも働きたいと望む人が働くことができるようにしてください。また、これから毎年多数の卒業生があるので、その人たちが受け止められるような支援ができるように補助金を出してください。</p>

No.	種別	意見
283	障害	<p>6月に実施された緊急プランの説明会に参加させていただきました。とても分かりやすい説明でした。</p> <p>44項目目にあがっている小規模通所授産施設の補助金の見直しについては、私たちに直結してくる深刻な問題となっています。</p> <p>昨年の12月に出された緊急プランの時もパブリックコメントに書かせて頂いたのですが、この箕面市緊急プランの補助金削減額はどのような意図で決められたのか大変疑問に思います。この緊急プランは事前調査も不十分に感じられますが、それぞれの対象となる事業のことをわかった方達たちでチームは構成されているのでしょうか？</p> <p>最初から補助金カットを謳うのではなく、ひとつひとつの事業の再検討を行い、現場の現状を確認しながら、どこが減らしていけそうなのかを共に考え、最終的にそこに見合った金額を出していくのが本来あるべき形なのだと私は思います。</p> <p>私たちは日頃より福祉の現場の現状や障害者当事者の声を届けてきたつもりでしたが、こんな結果になってしまったことが本当に残念で仕方ありません。</p> <p>確かに箕面市の財政が苦しい状況のなかで、補助金を削っていくことは致し方ないことかもしれませんが、ただ、一緒に検討する機会というものを作ってほしいと思っていました。</p> <p>パブリックコメントの募集は2回目になりますが、それなりに緊急プランに内容についても変化を見せて欲しいと思います。</p>
287	障害	<p>私たちは、箕面市に支えて頂きながら中途障害者作業所を運営しています。</p> <p>立ち上げて5年目を迎えています。立ち上げ当初は仕事もなく、月給はたったの160円でした。それが、今では5000円ほどあります。とはいえ一家の大黒柱が5000円では障害者年金があっても十分ではありません。年金がない人もいます。「もっともっと働きたい」というのが私たちの願いです。</p> <p>しかし、緊急プランは私たちから仕事を奪い、居場所さえも奪おうとしています。生きていくための支援を削ると言うことは、生きていく意味さえも奪おうとされているのではないかと感じてしまうほどです。</p> <p>障害者自立支援法に則った新事業に移行する予定ではありますが、そこにも課題が山積みです。今の作業所では狭くて最低定員を収容することができないので移行するには移転が前提となりますが、移転先や移転にかかる費用などが大きな課題です。これらをクリアするには箕面市の支援が必要で時間も必要です。移行するまで支えて頂きたい、移行するまで見守って頂きたいです。</p> <p>大阪府は最低でもH23年度までは補助金を継続すると言っています。箕面市もせめてH23年度まで補助金をカットすることなく継続してください。</p>
289	障害	<p>障害者福祉作業所運営費補助金の削減を今回の「緊急プラン」でも挙げられていますが、昨年12月のバージョン1以降、特命チームの方々には現地視察など現状分析をされてバージョン2を作られたのでしょうか？</p> <p>少なくとも私たちの作業所に、そのチームの名前を名乗る方は一人もいらしていません。つまりは、前回同様に現場をご存じない方々が、机上で、理論だけで、更に押しすすめようとしているとしか思えません。その考え、姿勢には大変疑問を感じます。</p> <p>この財政改革を進めるために、誰が痛みを感じるのか、きちんと考えて頂きたいです。実際にこのプランの影響を受ける一部の市民です。その一部の人は、社会的に弱い人が大半です。決して全市民での痛み分けにはなっていません。</p> <p>結局このプラン自体に興味を示される方が少数となるわけで、パブリックコメントも12万人の市民がいながら前回同様、千通に満たないという結果になると思います。</p> <p>「支出を減らす＝箕面にとってよいこと」だと本当にお思いですか？</p> <p>「借金を減らし、未来の子ども達が安心して暮らせる街づくり」を目指されていますが、現在の市民が苦しみをを感じるこの街の未来が明るいとは全く思いません。</p> <p>実際は市民そっちのけで、街の評価を上げるように躍起になっているように見えます。</p> <p>市長をはじめ、特命チームの方々には、誰もが安心して暮らせる街づくりの為の工夫をお願いしたいです。山を削って高速道路を作る前に、市民を守る有効な税金の使い方をして欲しいです。</p> <p>また、少数の意見かもしれませんが、これらのパブリックコメントを真摯に受け止め、このプランを推し進める前に、現場を見に来てください。</p>

No.	種別	意見
290	障害	42障害者福祉作業所運営費補助金について 大阪府は23年度まで補助金を維持するそうです。 箕面市でも平成23年度まで補助金を維持して欲しいです。 今の作業所が自立支援法の事業所に移行する迄補助金の削減はしないようにお願いします。
291	障害	福祉作業所は、箕面市の誇りです。今まで、箕面市の補助金があったからこそ作業所は維持できていました。作業所に通う利用者さん、その御家族のみなさまに喜んで頂いていました。しかし、それを維持するためには、必要な経費がかかります。その恩恵を享受できているのは箕面市のおかげです。言い換えるのならば、我々箕面市民の納める税金のおかげなのです。そのようなことを考慮していただき、これからの未来を見据える上で、福祉は最後のセーフティネットであります。安心して暮らしていける明るい街であってほしいです。 福祉のサービスを受けるのは、市民の権利であるし、市と行政が、市民がよりよい暮らししていくための知恵と努力です。ぜひ、我々の素晴らしい箕面市の福祉活動を支える補助金を有効に使えるようにお願いします。
292	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金について 作業所運営補助金は、職員の給料、作業所の家賃、送迎車の経費が主な使い道です。現状でも足りないのが現実です。 緊急プランの通りに補助金を1割削減されたら、職員の給料をカットせざるを得ません。翌年2割削減されたら、何をカットすればいいのでしょうか？給料を下げられた職員が辞めてしまったら、作業所はどうなるのかが不安です。作業所がもしなくなってしまうようなことになったら、私たちはまた自宅に引きこもるしかないと思います。 大阪府は平成23年度まで補助金を維持するそうです。 箕面市でも同じく平成23年度まで補助金を維持してほしいです。 今の作業所が自立支援法の事業所に移行するまで、補助金の削減はしないようにお願いします。 【12名 同意見】
293	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金について 作業所運営補助金が削減され、作業所運営が立ち行かなくなり、もしも閉鎖されるような事態になったら、箕面は貴重な社会資源を失うこととなります。 福祉が充実している街であることが市民である私たちにとっては誇りに思っていたことですが、この緊急プランの内容は私たちの気持ちを裏切るものです。 障害を持った人が働く場所を奪うことなく、誰もが安心して暮らせる街づくりをお願いします。 【44名 同意見】
305	障害	< 全体的なことに関して > 1. 前回の、パブリックコメントに対する、市の考え方について 前回時点では、事業担当課との調整は行っていないとのことでしたが、今回はどうなのでしょう か？ パブリックコメントだけではなく、現場の担当部署にも多くの市民や団体の意見や要望が寄せられて いると思います。それらがどのようにゼロ試案担当に伝わり検討されたのかを、(今後の庁内の 検討も含めて)どのように知ればよいのでしょうか？ 2. 今回は、本年度予算反映板、ver.3は決算反映板、Ver.4は来年6月に来年度予算反映版との ことですが、事後報告、事後の意見聴取ではなく、予算案の段階での意見聴取が必要なのは ないでしょうか？ < 障害福祉関連 > 1. 前回、事業担当課との調整は行っていないとのこと説明の無かった障害福祉計画との整合 性や障害福祉計画の、見直しについて考えを示していただきたい。

No.	種別	意見
306	障害	<p>福祉予約バスについて 福祉予約バスについては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通活性化協議会による市内バス路線網の整備・充実、公共施設巡回福祉バス(Mバス)のあり方検討の動向を踏まえ検討するとされていますが、個別移送サービスについては固有の課題も多く、多角的な調査、研究、検討を要するため、早急に別途協議の場を設け、同時並列的に協議を進めるべきだと考えます。また、利用者等の意見が取り入れられるよう、市民参加を基本とし進めてください。</p> <p>あかつき福祉会(仮称)地域生活総合支援センター建設について 箕面市が掲げるノーマライゼーションの理念や障害福祉の脱施設化の流れからも、経営の効率化の観点から大規模な収容型施設の建設が行われるのだとすれば、大きな違和感を感じます。「ノーマライゼーション」という言葉の意味するところをあらためて明確にし、それを推進する取り組みを求めます。</p> <p>「市内に9か所のグループホーム・ケアホームが点在していることから、夜間の支援体制等の効率化を図ることができず、同福祉会の経営を圧迫しています。このような状況にあって、グループホーム・ケアホームの戸数を増やすこともままならない状況です。」とのことですが、平成21年度に障害者自立支援法の介護給付費の引き上げが行われ、グループホーム・ケアホームにおいても少なからず、経営改善が可能となっております。この点について改めて市民への説明が必要であると考えます。</p> <p>以上、少なくとも2点について熟慮し、再検討を行ってください。</p>